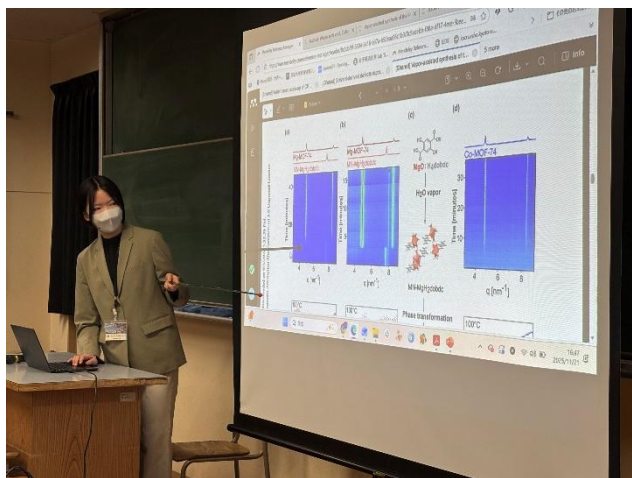


## 難関大学座談会（2年進路行事）

11月21日（金）、2学年を対象に「難関大学座談会」を実施しました。今回は講師として、京都大学大学院理学研究科化学専攻で研究に励まれている本校卒業生の梶岡ミカさんをお招きしました。

講演では、最難関大学に進学することで得られる環境の魅力や、自身の高校時代の進路決定プロセス、そして現在の大学院での研究生活から卒業後の展望まで、多岐にわたるお話をいただきました。

特に印象的だったのは、梶岡さんの専門である「MOF（金属有機構造体）」に関するお話です。大学レベルの非常に高度な内容でしたが、生徒たちは前向きに聞き入り、質疑応答では専門的な視点からの鋭い質問も飛び出しました。「なぜ学ぶのか」という本質的な問いに対し、最前線で活躍する先輩の姿から大きな刺激を受けた一日となりました。この経験を糧に、2年生一人ひとりが自身の高い目標に向かって邁進していくことを期待しています。



### 【生徒のコメント（一部抜粋）】

- ・今までは焦りと共に勉強していましたが、梶岡さんのお話を聞いて、ポジティブな目標を目指して明るく励んだ方が着実に成長できると思えました。
- ・『勉強するほど強気になれる』ように、ルーティーンをこなして頑張りたいです。
- ・研究費が豊富で制限がかからず、論文が読み放題という難関大の利点を聞いて、より大学の研究室についての興味が深まりました。
- ・自由度の高い環境だからこそ身に付けられる周囲の人からの刺激は、とても貴重なものだと感じ、モチベーションが上がりました。
- ・MOFの話は難しかったけれど、すごく面白そうに興味が出てきました。自分でも調べてみようと思います。

